

第17回傾斜機能材料シンポジウム "FGM2005 in 名古屋"

—基礎から応用まで—

傾斜機能材料(Functionally Graded Materials: FGM)は宇宙材料への応用を目指し、熱応力を緩和するための手法として出発しました。しかし、現在ではその守備範囲を広げ、超硬切削、光通信、電子、磁性、エネルギー変換、生体材料等、様々な分野での展開が図られています。FGMは、旺文社刊の「工学部受験の総合的研究」で紹介され、また、平成16年度の技術士(金属)の1次試験問題に出るなど、一般にも広く知られるようになっていきます。

今回のシンポジウムは「人づくり、ものづくり、未来づくり」をモットーとしている名古屋工業大学で開催します。今、愛知県は中部国際空港(セントレア)の開港、愛・地球博の開催と何かと話題の場所です。今回のシンポジウムではFGMの基礎研究と実用化の両面から、広く今後の可能性と展開を模索することを目的に、FGMの構造・組成・創製プロセス、環境曝露下の反応性、表面反応制御、シミュレーション予測、最適機能発現、新分野応用、実用化、新概念提示等、様々な内容に関する発表を募集します。また、今回は、特別にFGMの各分野で技術開発の最先端を走る研究者、企業の方に実用化技術の一旦を披露していただくとともに、新たなFGM製品を発掘させる特別セッションを併設いたします。

講演論文はシンポジウム開催後に、過去、シリーズとして発刊されてきたISBN番号を有する一連の論文集の一つとして査読プロセスを経た後、傾斜機能材料論文集 vol.19 として発行する予定です。

皆様奮っての講演申込・ご参加をお待ちしております。

講演・参加募集

日時：2005年11月21日(月)～22日(火)

場所：名古屋工業大学講堂会議室、〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町

「名古屋駅」から

「名古屋」から中央本線で「鶴舞」へ7分

「鶴舞」駅下車(名大病院口)徒歩約7分

「中部国際空港(セントレア)」から

「中部国際空港」から名鉄電車で「金山」へ24分

「金山」から中央本線で「鶴舞」へ3分

「鶴舞」駅下車(名大病院口)徒歩約7分

主催：傾斜機能材料研究会

共催：(独)宇宙航空研究開発機構、(独)物質・材料研究機構、(独)科学技術振興機構、
(財)航空宇宙技術振興財団、(社)未踏科学技術協会、(財)中部電力基礎技術研究所

後援：文部科学省

協賛：日本金属学会、日本鉄鋼協会、腐食防食協会、日本機械学会、日本航空宇宙工業会、応用物理学会、
日本セラミック協会、日本化学会、高分子学会、日本材料学会、溶接学会、日本熱物性学会、
日本非破壊検査協会、粉体粉末冶金協会、日本口腔外科学会、日本接着歯学会、日本熱電学会、
繊維学会、日本複合材料学会、学術振興会第124委員会(高温セラミック材料)、
無人宇宙実験システム研究開発機構

内容：傾斜機能材料の構造・組成・処理、表面反応制御、シミュレーション、最適機能発現、ナノ構造等、
傾斜機能材料およびその周辺技術に関するあらゆる内容を対象とします。

発表形式：口頭発表(15分)およびポスター。当日には要旨集を配布し、後日、論文集(査読付)を出版します。

表彰：2006年4月1日現在で35歳以下(35歳を含む)の若手研究者・技術者・学生の発表(ポスターを含む)は「FGM奨励賞」の対象となります。

特別講演：大阪大学名誉教授 竹本喜一先生

特別セッション：傾斜機能材料の実用化に関するワークショップ講演4件

参加登録費：要旨集(1冊分+CD:WS講演内容を含む)+論文集代(1冊分、送料含む)込み

傾斜機能材料研究会会員 7,000 円, 一般 8,000 円, 学生 3,000 円
(当日受付は一律 1,000 円増となります). 払込みは下記へお願いします. (振り込み料はご負担下さい.)
七十七銀行泉中央支店 (店コード: 284) 普通預金, 口座番号: 5373328,
名義: 傾斜機能材料研究会 事務局長 遠藤長司(ケイヤクノサ イョウケンキョウカイ ジムキョクチョウ エントウチョウジ)
なお, 振り込まれました参加登録費は理由の如何に関わらず返却できませんので予めご承知おき下さい.

懇親会 : 3,000 円

(事前の申し込みをお願い致します.)

発表申込・要旨原稿締切: 8月19日(金)

発表申し込み様式<発表申し込み方法.doc>をダウンロードし, E-mail 本文ないし FAX で事務局までご送付下さい. 希望する発表形態 (口頭あるいはポスター) をお書き下さい. ただし, 会場の都合で, 希望に添えない場合もあります.

要旨要領様式<FGM2005 要旨要領.doc>をダウンロードし, E-mail 添付文書ないし FAX として事務局までご送付下さい.

事前登録締切 : 10月31日(月)

事前登録様式<事前参加登録方法.doc>をダウンロードし, E-mail 本文ないし FAX として事務局までご送付下さい

論文集原稿締切: 論文原稿様式<FGM2005 原稿要領.doc>をダウンロードし, 11月11日(金)までに E-mail 添付文書ないし郵送で事務局までご提出下さい.

発表・参加申込先: FGM シンポジウム事務局

f g m@ml.nitech.ac.jp (半角に直してください)あて

要旨・原稿送付先: 〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町

名古屋工業大学大学院工学研究科 おもひ領域

渡辺義見研究室内 FGM シンポジウム事務局

問合先: FGM2005 国内シンポジウム実行委員会 渡辺 義見 (代表)

Tel.:052-735-5624, E-mail: y o s h i m i @nitech.ac.jp(半角に直してください)